

第13回学生生活調査結果に基づく支援・改善事項

【全学】

調査項目	支援・改善事項	支援・改善策(方法)の例示	支援・改善策(方法)例示	H29.2末日現在対応状況
健康	一気飲み、泥酔をさせない 未成年の飲酒禁止	教育啓発活動の推進。	学生生活案内(以下、「ぼってんライフ」という。)の効果的活用をねらい、ぼってんライフの見直しをするとともに、入学時の安全・生活指導オリエン時に学生支援課長より実際に「ぼってんライフ」の内容を踏まえた講話を行う。	学生生活案内(以下、「ぼってんライフ」という。)の効果的活用をねらい、ぼってんライフの見直しを行った。 また、入学時の安全・生活指導オリエン時に学生支援課長より実際に「ぼってんライフ」の内容を踏まえた講話を行う。
キャンパス全般	キャンパスの交通安全、迷惑行為対策の充実	教育啓発活動の推進。 キャンパス内での運転のマナー改善。 構内交通対策の充実。	同上	同上
	附属図書館サービスの充実	開館時間の延長。	図書館に、開館時間の延長だけでなく、サービスの充実についても改善を申し入れる。	マナー強化週間を実施すべく警察への申し入れを行い、2016.11.15(火)8:20-9:00に、正門および東門前で自転車通学生向けに注意喚起を行った。(警察官、学生支援課職員)  図書館に、開館時間の延長だけでなく、サービスの充実についても改善を申し入れた。 → 既に以下のとおり実施しているが、学生へ周知するための方法を学生支援課と共同してすることとなった。 ・中央館及び医学分館の土・日・祝日(通常期) 開館時間を18:30から20:00に延長済み(H28年度から) ・学生からの意見や要望を直接聞くための学生懇談会の実施 ・学生リクエスト図書の購入、選書ツアーの実施 ・懇談会に参加する学生は図書委員(教員)から推薦いただき、図書のリクエスト、選書ツアーは館内掲示板で案内した。
学生相談体制	相談体制の充実と周知	学生相談・支援体制の周知徹底。 ピア・サポーターの養成。	学生何でも相談に関し、食堂テーブルに配置している学生相談窓口、ピア・サポート掲示を追加する。 さらに、学生相談窓口、ピア・サポートチラシを学生に直接配付する。	①学生何でも相談に関し、食堂テーブルに配置している学生相談窓口、ピア・サポート掲示を追加した。 さらに、学生相談窓口、ピア・サポートチラシを学生に直接配付した。 ②キャリア相談に関し、平成27年度に設置した「キャリア支援センター」では、本年4月より教員1名を新たに配置した他、「キャリアアドバイザー」の資格を有する事務職員を1名増員し2名体制として、学生のキャリア相談体制を充実させ、キャリア支援センターパンフレットやホームページなどで学生に周知を行った。また、キャリア相談体制の更なる充実を目指し、本年度学務系職員1名に「キャリアアドバイザー」養成講座を受講させている。
	窓口サービスの充実	サービスの改善。(特に周知方法)	電子媒体での周知も検討するほか、掲示を原則とする旨をオリエン等で強く周知する。	電子媒体での周知も検討したが、あまり良い結果は望めないと判断し、従来と同様、掲示を原則とする旨をオリエン等で強く周知する予定。
大学生生活	学生生活調査の改善	質問項目の改善。 インターネットを用いた調査。	業者との打ち合わせにより、インターネット調査へ移行する。また、あまり意味のない設問、別のアンケートで重複する設問は割愛するなど委員会において検討を行う。	学内での重複する設問のあるアンケート調査類を一部統合すべく、COC+におけるアンケートを吸収できるかどうかを検討した。今後更に検討を重ね、設問を検討する予定。

第13回学生生活調査結果に基づく支援・改善事項

部局	調査項目	支援・改善事項	支援・改善策(方法)の例示	H29.2末日現在対応状況
【学部】				
教育学部	キャンパス全般	施設・設備の改善	美術技術教室(棟)にエレベーターを設置するための検討を開始する。	エレベーターの設置について検討したが、現在の予算面で設置は難しい状況にある。
経済学部	キャンパス全般	駐輪場の整備	駐輪場の整備。 →自転車・バイクの盗難の確認調査を警察本部に依頼。市役所にて所有者調査後、放置車を撤去する。	放置自転車・バイク確定。28年度末に廃棄処分予定。
	学生相談体制	学生への支援情報提供	ピア・サポーターの情報提供。 →交流プラザ掲示板に掲示ブースを設ける。 やってみゅーでスクの情報提供。掲示・紹介。 →交流プラザ掲示板に掲示ブースを設ける。	交流プラザ掲示板が老朽化しているため、新掲示板を設置し、ピア・サポーター・やってみゅーでスク・その他ボランティア活動情報提供ブースを設けた。
学生相談体制の強化・周知		相談体制・カウンセラーの紹介。 →新入生オリエンテーションまたは、新入生合宿研修にて説明する。	平成29年度新入生オリエンテーションにて、カウンセラーより講話・紹介をする。	
医学部 医学科	キャンパス全般	講義室の改善	第三講義室の空調や壁の改修、及び学生増加に対応し机、椅子を増やす。	第三講義室の空調の改修及び壁紙の張り替えを行った。また、学生増加に対応し、机を交換し椅子を増設した。(132席→150席)
	課外活動	サークル打ち上げ等での、イッキ飲み禁止など含むアルコールハラスメント防止のための周知、及びサークル使用体育館など施設に係る学生指導	医学科学学生委員長によるサークル指導。	医学科学学生委員長によるサークル指導を実施した。
	学生相談体制	授業以外でも教員と関わる機会を設け、相談できる環境整備	担任制を実施。班分けをして、教員を割当て、面談などを行う。学生に懇親会参加を促す周知をする。	担任制を前期に実施した。後期も担任制及び懇親会を実施中であり、教員、学務係から参加促進の周知を積極的に行っている。
	入学・修学	LACSなどにアクセスするためのデバイスを提供し、学習環境整備	1年次に希望者にはタブレットを貸出。	1年次の希望者にタブレットを貸出している。
医学部 保健学科	課外活動	学生の自治活動活性化支援	・学生会を中心とした、新入生合宿研修の協力	・H29年度の合宿研修で新入生に対して講話をする上級生へ依頼した。
	入学・修学	国際性の向上	・海外研修・学生交流の実施	・H29.3月に実施する予定の英国・オランダ研修に参加する学生への事前オリエンテーションを実施した。 ・H29.3月にカウアイコミュニティカレッジからの研修受け入れの学生ホームステイ受け入れ学生などプログラム調整中である。
	キャンパス全般	キャンパスの環境整備 インターネット環境の改善	・保健室の設置 ・304講義室(コンピューター室)の整備 ・講義室にプロジェクターの設置 ・体育館の修繕 ・学内LANの整備	・保健学科に保健室を設置した。 ・304講義室(コンピューター室)を就職支援室として整備した。 ・運動療法実習室にプロジェクターを設置した。 ・体育館の破損箇所を修繕した。 ・学内LANを整備した。
	学生相談体制	学生相談体制の強化	・学生支援等協議会の開催	・学生支援等協議会を設置して開催した。 ・なんでも相談室、学生相談員の担当教員を明示して随時対応している。 ・アドバイザー教員が担当学生の相談窓口となっている。
歯学部	キャンパス全般	学習環境の改善	自習室の設置を検討。	歯学部C棟4階に自習室4A・4Bを整備した。またC棟1階に自習スペースも兼ねた学生談話室を整備した。
	福利厚生施設	福利厚生施設の整備	学生用リフレッシュルームの設置を検討。	歯学部C棟1階に自習スペースも兼ねた学生談話室を整備した。
	キャンパス全般	学生の駐輪スペースの確保	病院駐車場管理室と連携し、長期放置自転車および二輪車の整理を検討。	病院駐車場管理室と連携し、学生が春休み期間である3月に、長期放置自転車および二輪車に所有確認・警告の貼り紙を行い、整理を行う予定。

部局	調査項目	支援・改善事項	支援・改善策(方法)の例示	H29.2末日現在対応状況
薬学部	キャンパス全般	駐輪場の整理	自転車を放置しないよう周知徹底する。	薬学部全学生に対し、H29.1.4付けで掲示板での掲示及びH29.2.6付けでNU-Web上の掲示及びメール送信にて自転車を放置しないよう周知済み。
	入学・修学	学生から意見の聴取	学生との懇談会（毎年8月開催）にて、学科を変わりたい理由及び不満点を聴取し、改善につなげる。	平成28年8月8日に「学生との懇談会」を開催し、学生代表者に理由の聴取を行い（不満点は出なかった）、8月31日開催の薬学部教授会において、同懇談会の内容の情報共有を行った。なお転学科以外の不満点について、施設面及び教育制度面において、平成28年度中に対応済。なお、教育制度面の一部においては、平成29年度に教務委員会で改善を検討予定。
工学部	キャンパス全般	附属図書館利用の利用の促進と更なる意識づけ	附属図書館の主な利用について、各コースの掲示板にも掲示し、更なる周知を行う。	各コースの掲示板に、附属図書館の利用促進について掲示し、学生に周知している。
		施設整備	バリアフリー改修工事について、開き扉を自動ドアに改修し、段差の改修工事を行う。	工学部建物の改修工事を行い、車椅子の学生が通行しやすいように自動ドア等を設置した。
	学生相談体制	各種相談窓口の更なる周知	学生相談室について、各コースの掲示板にも掲示し、更なる周知を行う。	各コースの掲示板に、学生相談室の利用について掲示し、学生に周知している。
環境科学部	入学・修学	専門教育に対する動機づけ	初年次セミナーにおいて、環境科学を学ぶ意義、環境科学を修めた人材の社会的ニーズや将来性を、自主学習を通じて考えさせる。	来年度の初年時セミナーに向けて準備を進めており、環境分野で活躍するOB/OGによる講演会を実施予定。
	キャンパス全般	ペーパーレス化の促進	講義資料の提示や課題等の提出をLACSを通じて行うことで、学生・教員双方におけるペーパーレス化を促進する。	教員関係会議でもペーパーレス化の動きがあることから、その進捗に合わせて、教授会等で教員に周知を行う予定である。
		学生用メールチェックの促進	学生用メールを毎日数回はチェックするよう、年度始めのオリエンテーション、講義での定期的なアナウンス等により徹底させる。	・来年度のオリエンテーションや初年時セミナーで周知を行う予定である。 ・教養科目の「情報基礎」では、学生用メールが確認できるようメールアドレスの設定等を講義内容に取り入れていることを確認した。
水産学部	入学・修学	修学支援制度の向上	学部学生支援等協議会にて成績不良学生を抽出し、助言教員等による指導及び面談	9月末開催の学部学生支援等協議会で成績不良学生を抽出し、助言教員等による指導及び面談を行った。
	学生相談体制	相談体制の充実	学部4年生へのメンター教員の配置	学部4年生ヘンター教員を配置した。

部局	調査項目	支援・改善事項	支援・改善策(方法)の例示	H29.2末日現在対応状況
【研究科】				
教育学研究科	入学・修学	研究指導体制の改善	研究指導用のオフィス・アワーを設定する。	各指導教員のオフィス・アワーで対応している。
工学研究科	キャンパス全般	附属図書館利用の利用の促進と更なる意識づけ	附属図書館の主な利用について、各コースの掲示板にも掲示し、更なる周知を行う。	学務課（工学部）で掲示文書を作成し、研究科及び各コース掲示板へ掲示した。
		施設整備	バリアフリー改修工事について、開き扉を自動ドアに改修し、段差の改修工事を行う。	2号館22番講義室の後部ドアをスライドドアへ改修。
	学生相談体制	各種相談窓口の更なる周知	学生相談室について、各コースの掲示板にも掲示し、更なる周知を行う。	学務課（工学部）で掲示文書を作成し、研究科及び各コース掲示板へ掲示した。
水産・環境科学総合研究科	入学・修学	研究指導の充実	研究指導に関するFDを推進	5月の研究科委員会においてFD「ハラスメントに関する講習会」を行った。
	学生相談体制	学生相談体制の周知	学生相談体制の周知徹底	「学生何でも相談室」や「何でも相談員」、「カウンセラー」などの相談窓口の存在について教員と学務班が協力して学生への周知に取り組んでいる。
医歯薬学総合研究科(博士課程)	入学・修学	研究指導の充実	教員の研究指導力向上のためのFD開催を検討する。	F D開催について検討中
	学生相談体制	窓口サービスの充実	手続資料の英語化の推進	入学手続き案内、オリエンテーション資料、メール等での事務連絡など、留学生に対応した英語化を以前よりも充実させた
医歯薬学総合研究科（博士前期課程） （薬学系）	学生相談体制	窓口サービスの充実	サービスの改善（特に周知方法：掲示のみでなくNu-webへの掲載と併用する）	平成28年度は、学生への周知の際は、掲示板による掲示のみでなく、NU-Webへの掲載と併用した。
医歯薬学総合研究科 (修士課程) (保健学系)	課外活動	学生の自治活動活性化支援	・校友会を中心とした、新入生合宿研修の協力	・H29年度の合宿研修への協力を検討中である。
	入学・修学	国際性の向上	・海外研修・学生交流の実施	・釜山カトリック大学への研修について調整中である。
	キャンパス全般	キャンパスの環境整備 インターネット環境の改善	・保健室の設置 ・304講義室（コンピューター室）の整備 ・講義室にプロジェクターの設置 ・体育館の修繕 ・学内LANの整備	・保健学科に保健室を設置した。 ・304講義室（コンピューター室）を就職支援室として整備した。 ・運動療法学実習室にプロジェクターを設置した。 ・体育館の破損箇所を修繕した。 ・学内LANを整備した。
	学生相談体制	学生相談体制の強化	・学生支援等協議会の開催	・学生支援等協議会を設置して開催した。 ・なんでも相談室、学生相談員の担当教員を明示して随時対応している。 ・アドバイザー教員が担当学生の相談窓口となっている。
熱帯医学・グローバルヘルス研究科	研究指導体制	研究指導体制の充実	これまで同様、主指導教員に加え、副指導教員を配置し、きめ細やかな対応を実施するものとする。 また、さらに授業評価や学生相談で出された学生からの意見を指導に反映させるよう教務WG等で検討・調整を行っていくものとする。	引き続き、主指導教員及び副指導教員による複数体制による指導を実施した。 また、授業評価に加え、研究科独自で学生レビューを実施し、学生の意見を専任教員間で共有させ、講義にフィードバックさせるよう取り組んだ。